

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2 月 6 日
住 所 埼玉県新座市野火止三丁目10番7号
県内企業等の名称 MASUKI GROUP
代表者役職氏名 株式会社増木ホールディングス 代表取締役 増田 敏政

MASUKI GROUP

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社MASUKI GROUP(株式会社増木ホールディングス・株式会社増木・株式会社増木工務店・増木工業株式会社)は、明治5年に増田木材店として創業して以来、「誠実・勤勉・奉仕」を歴代不変の鉄則として掲げ、地元密着型の工務店として地域社会の発展に貢献してきました。環境に対応し順応しながら企業文化や企業の生き様を若い世代に残しつつ、共に育んでいくことが中小企業である弊社に課せられた使命であると考えております。これからもMASUKI GROUP全体で建築を通して、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	①社用車を環境配慮型車両に移行する。 ②コピー用紙の使用枚数を削減する。 <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮型車両率:20% ②コピー用紙の使用枚数:381,832枚	<2030年に向けた指標> ①環境配慮型車両率:40% ②コピー用紙の使用枚数:25%削減 <3年後に向けた指標> ①環境配慮型車両率:25% ②コピー用紙の使用枚数:10%削減
社会	①従業員の年間休日数を増やす。 ②地域の子どもの職業体験を受け入れる。 <(現状値)2022年の数値> ①従業員の年間休日数:114日 ②地域の子どもの職業体験:4件	<2030年に向けた指標> ①従業員の年次休暇取得日数:120日 ②地域の子どもの職業体験:5件 <3年後に向けた指標> ①従業員の年次休暇取得日数:114日 ②地域の子どもの職業体験:4件
経済	①地域の事業者・顧客との取引を増やす。 ②環境配慮型商品の売上を増やす。 <(現状値)2022年の数値> ①地域の事業者・顧客との取引:2,135件/年 ②環境配慮型商品の売上:10,850万円/年	<2030年に向けた指標> ①地域の事業者・顧客との取引:25%増 ②環境配慮型商品の売上:25%増 <3年後に向けた指標> ①地域の事業者・顧客との取引:5%増 ②環境配慮型商品の売上:8%増

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。